

令和7年3月26日(水)

11:00 解禁

【同時資料提供先】  
広島合同庁舎記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ  
広島県政記者クラブ

【問い合わせ等】  
一般社団法人公共建築協会  
中国地区事務局  
事務局長 竹内 耕一  
電話：082-207-4101

## 第19回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」及び「地域特別賞」決定

このたび、第19回公共建築賞 中国地区審査委員会（委員長：西名 大作 広島大学大学院教授）から、第19回公共建築賞 審査委員会（委員長：和田 章 東京工業大学名誉教授）に推薦していた次の3点の公共建築が、第19回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」に決定しましたのでお知らせします。

公共建築賞は、優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的に、国土交通省、全国知事会、全国市長会及び全国町村会の後援を得て一般社団法人公共建築協会と一般財団法人建築コスト管理システム研究所の共催により実施しているものです。

### □ 《公共建築賞・優秀賞受賞作品》（50音順）

建築物名	所在地
高梁市駅前複合施設	岡山県高梁市旭町 1306
長門市本庁舎	山口県長門市東深川 1339-2
防府市公会堂	山口県防府市緑町1丁目9-1

また、第19回公共建築賞 中国地区審査委員会が「地域特別賞」に推していた次の公共建築が、「地域特別賞」に決定しました。

### □ 《地域特別賞受賞作品》

建築物名	所在地
etto 宮島交流館	広島県廿日市市宮島町 412

なお、公共建築賞 中国地区表彰式を下記のとおり開催いたします。

《表彰式》

日 時 令和 7 年 6 月 6 日（金） 13:30～15:30  
会 場 ホテルグランヴィア 3 階「飛鳥」  
（広島市南区松原町 1 番 5 号）

□ 《審査の経緯》

昨年 6 月 3 日(月)に公募を開始し、9 月 7 日(土)に締め切りました。全国では 114 点、中国地区では 9 点の応募がありました。

審査は、各地区事務局に設置された公共建築賞 地区審査委員会による第 1 次審査と、当協会本部に設置された公共建築賞 審査委員会による第 2 次審査の 2 段階で行われ、それぞれ応募書類及び必要に応じ現地調査による審査が行われます。

第 1 次審査は、全国 9 地区に設置された第 19 回公共建築賞 地区審査委員会によって、昨年 9 月より開始し、応募書類及び現地調査による審査を経て、中国地区の 3 点を含む全国で 33 点の公共建築が、第 2 次審査の対象として第 19 回公共建築賞審査委員会（協会本部）に推薦されました。このたび、審査の結果「公共建築賞・優秀賞」に決定されました。

また、第 2 次審査の対象として推薦した公共建築以外で、地区において優れた特徴を持つ公共建築、奨励すべき公共建築として、各地区の審査委員会より、中国地区の 1 点を含め全国で 8 点の公共建築が「地域特別賞」に推されていましたが、このたび、「地域特別賞」に決定されました。

第 18 回公共建築賞 中国地区審査委員会 委員（敬称略 50 音順）		
委員長	西名 大作	広島大学大学院 教授
委 員	川畠 満	広島県土木建築局 建築技術担当部長
	衣笠 准一	(一社)広島県建築士事務所協会名誉会長理事 (株)近代設計コンサルタント会長
	近村 千穂	県立広島大学連携推進グループ グループリーダー
	橋本 一洋	国土交通省中国地方整備局 営繕部長
	平木 久恵	(有)グリーンブリーズ代表取締役

□ 《受賞作品概要》

別紙 第 19 回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」及び「地域特別賞」受賞作品

□ 《公共建築協会本部記者発表資料》

当協会本部記者発表資料も併せてご覧ください。

第 19 回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」及び「地域特別賞」の決定について

別紙 第 19 回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」受賞建築物一覧(全 33 点)

第 19 回公共建築賞における「地域特別賞」受賞建築物一覧(全 8 点)

別添 第 19 回公共建築賞の今後のスケジュール

(参考) 公共建築賞について

# 《第 19 回公共建築賞・優秀賞受賞作品》

## 防府市公会堂(文化施設部門)



### 《施設概要》

- 所在地 : 山口県防府市緑町1丁目 9-1
- 用途 : 公会堂(劇場)
- 構造・規模 : RC造(耐震)・地上 4 階地下1階
- 延べ床面積 : 5, 575.94 m<sup>2</sup>
- 竣工年月 : 令和2年3月
- 事業者 : 防府市
- 設計者 : (株)佐藤総合計画 九州オフィス
- 施工者 : (株)熊谷組・澤田建設(株)・山陽建設工業(株)共同企業体

公共建築は、永く使い続けられることを前提に計画される一方、時代の流れとともに変化する様々なニーズへの対応が求められるが、本件は既存建築ストックを活用しつつ、新しい時代や地域固有のニーズを柔軟に汲み取り、時代の息吹を注入して再生・進化を図った好事例である。

改修のきっかけとなった耐震性能の不足について、耐震ブレースを極力導入せず、新たな RC 耐震壁の挿入や既存 RC 躯体への増し打ち補強等、あからさまな「耐震要素」は見せない構成とすることで、60 年の歴史を刻む公会堂の市民の記憶に刻まれたモダニズム建築の意匠性とシンボル性を継承することに成功している。

防府市公会堂は、ワンスロープ型の客席構成が特徴的であるが、あえて客席数を減らし客席ピッチを拡張しただけでなく、高低差の少ない大ホール前面の客席については、1 列毎に半席分横に座席をずらし、前列の観客と観客の間から檀上が見渡せるよう再配置され、細やかな工夫が施されている。加えて、ユニバーサルデザインとしてのトイレスペースの拡張や車いす席、授乳室の新設等、大ホール以外にも訪れた観客の心地よい滞在を可能とする配慮がなされている。

また、デザインを損なうことなく開閉式にした花道の新設や楽屋機能の充実等、演者の利用面についても改善されているだけでなく、施設管理上のニーズにも対応した改築となっていることから、施設管理者が実利用者から意見を収集し、設計から施工完了までの度重なる会議に欠かさず参加、提言を行った上での環境改善であることが窺える。

さらに、改修の主目的である耐震性能の改善と安全性、利便性の向上だけでなく、公会堂本来の用途である講堂としての最適化が図られ、残響時間についても、需要の高まっている音楽ホールとしての満足度の向上を意図して、いずれにも最適な残響時間「1.5 秒」を目標として達成しており、多様なニーズに対応した音響性能の付加として評価できる。

外観については、竣工時の佇まいを残し、意匠性を大きく損なわず、モダニズム建築の優れた態様を継承しながらも、内装については、窓枠や照明器具等、当時のデザインの良さを活かしつつ現代風のモダンな色合いの取り入れにより、歴史性を忘れさせる効果的演出がなされている。

1960 年の竣工後 3 度目の改修となるが、安全性、機能性を向上させながらも、まちのシンボルとしてモダニズム建築の意匠性を継承した秀逸な改修事例として、公共建築賞の授与に相応しいと評価し、推薦する。

# 《第 19 回公共建築賞・優秀賞受賞作品》

## 長門市本庁舎(行政施設部門)



### 《施設概要》

- 所在地 : 山口県長門市東深川 1339-2
- 用途 : 市庁舎
- 構造・規模 : 木+RC 混構造 一部鉄骨造(免震構造)
- 延べ床面積 : 7,202 m<sup>2</sup>
- 竣工年月 : 令和2年6月
- 事業者 : 長門市
- 設計者 : 東畑建築事務所・藤田建築設計事務所・M.DESIGN ASSOCIATES 一級建築士事務所設計共同企業体
- 施工者 : 熊谷組・安藤建設特定建設工事共同企業体  
ウッドネット西部やまぐち協同組合・日本木造耐火建築協会特定業務共同企業体  
栗原工業・山角電気設備特定建設工事共同企業体  
朝日・森永特定建設工事共同企業体

長門市は、市域の約 75%に豊かな森林資源を有する山々が広がり、北は日本海に面する、豊かな自然、景観に恵まれた地域である。現在、山々の森林は伐採期を迎えており、長門市ではこの優良な資源を活かすため、公共建築への積極的な木材活用が図られてきた。

本プロジェクトは、地域産木材利用推進の集大成として、市民の「安心安全」の拠点として、利用しやすい親しみやすい市役所本庁舎を木造で実現することはもとより、市の木材産業振興へも寄与すべく、地域産材を活用した大規模木造化への取組を広く発信することを目指したものである。

地域産材を活用した木造化を実現するため、あらかじめ調達可能な木材量を把握した上で、基本設計の段階から伐採を開始することにより乾燥期間を確保、必要量の製材の早期発注を可能とした。また、大規模木造建築の実現にあたり、木造と鉄筋コンクリート造のハイブリッド構造を採用、大断面集成材により約 12m のロングスパンを実現し、事務室空間のフレキシビリティ性を確保するなど木造建築の課題を克服する先進的な設計手法が採用された。このほか、防火区画の形成や合成梁の効果を確保するため、学識経験者を交えた実大実験が行われるなど、前例の少ない整備手法に果敢に挑戦し、大規模木造公共建築の先進事例となっている点は高く評価される。

完成後は、木の温かみを感じる庁舎として親しまれていることに加え、木造平屋建てで整備された市民ロビーや前面の市民広場が物品販売やイベントに開放されることで賑わいの創出にも成功しており、市の新たな拠点として多くの市民に利用されている。

以上から、市民に開かれた親しみやすい庁舎を整備するという点のみならず、先例の少ない大規模木造公共建築を地元産材の活用により地域の産業振興にも寄与しつつ高度な技術的検討により完成させ、先進事例として公共建築の木造化に寄与している点を高く評価し、公共建築賞の授与に相応しい施設として、ここに推薦する。

# 《第 19 回公共建築賞・優秀賞受賞作品》

## 高梁市駅前複合施設(文化施設部門)



### 《施設概要》

- 所在地 : 岡山県高梁市旭町 1306
- 用途 : 図書館/観光案内所/バスセンター/店舗
- 構造・規模 : SRC造 地上4階塔屋1階
- 延べ床面積 : 3,882.40 m<sup>2</sup>
- 竣工年月 : 平成 29 年 1 月
- 事業者 : 高梁市/カルチャア・コンビニエンス・クラブ(株)
- 設計者 : ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
- 施工者 : 中村建設(株)・福滝建設(株)・西本工業(株)特定建設工事共同企業体(株)中電工  
中村建設(株)

鉄道駅に直結する市立図書館を核とした複合施設である。

最大の特徴は、極めて狭小な敷地に図書館だけでなく観光案内所やバスセンターなど、機能を異にする多くの施設をコンパクトに収納しつつ、2階エントランスロビーからの三層吹き抜けや、EV やエスカレータ等を介した、それら施設の適切な配置によって、相互の有機的な連携が図られている点にある。

また、高梁市の象徴と言える備中松山城がモチーフとして随所に取り入れられ、地域の伝統文化を尊重する姿勢がうかがえる点も高く評価できる。すなわち、内部空間については、1階を除く各階に配された三の丸、二の丸、本丸の各テラスが、それぞれ吹き抜け空間や半屋外空間に面し、多様な人々を呼び込む賑わいを創出する場として機能している。ファサードについても、城壁の狭間に想を得た、スケールの異なるフレームを配した特徴的な立面構成をはじめ、伝統的な街並みの格子や瓦、板張りや石垣等を活かしたディテール等、ランドマークとしての象徴性を有する一方で、悪目立ちをしない地域に調和した質の高いデザインが完成されている。

さらに、図書館と書店の併設による相乗効果を期待するなど、企画から管理に至るまでの民間事業者の関与によるきめ細かな運営のほか、子ども神楽の定期公演や各種イベントの開催なども相まって、人口規模的に決して大きいとは言えない高梁市にありながら、鉄道駅の乗降客にとどまらない、多くの利用者の確保に成功している。

以上の事由から本施設を、公共建築賞の授与に相応しい施設として推薦する。

# 第 19 回公共建築賞地域特別賞受賞作品》

## etto 宮島交流館(生活施設部門)



### 《施設概要》

- 所在地 : 広島県廿日市市宮島町 412
- 用途 : 市民センター(公民館)
- 構造・規模 : RC 造一部S造
- 延べ床面積 : 1,997.83 m<sup>2</sup>
- 竣工年月 : 令和2年 12 月
- 事業者 : 廿日市市
- 設計者 : (株)あい設計
- 施工者 : 地域拠点施設(旧宮島支所跡地)整備工事 五洋建設・増岡組共同企業体

広島県廿日市市宮島町の、厳島神社をはじめとする世界遺産の区域内、並びに、重要伝統的建造物群保存地区内に位置する地域交流施設(公民館機能)の整備プロジェクトであり、住民と観光客が共に利用できる空間を創出することで、宮島の魅力向上と地域の活性化に加えて、災害時の拠点としても利用することを目的としている。

玄関の脇には、宮島名物のしゃもじを象徴する 7mを超える大杓子が展示され、観光の目玉となっている。また、建物内に入るとまず、眺めを楽しみながら休憩できる大階段が目に入り、3階に上がると、千畳閣や五重塔、瀬戸内海などを一望できる絶景の展望室が設けられている。

また、300席を確保できるステージ付きのホールは、厳島神社や五重塔を眺めながらのセミナーや会議の会場として活用が期待され、図書コーナーなどもあることから、宮島の歴史や文化を学び・体験できる場所、宮島散策の拠点としてのポテンシャルも高い。

一方、指定緊急避難場所でもあることから、マンホールトイレなど災害対応設備も充実しており、発災時には200人超の避難者の収容も可能となっている。

宮島の2024年の来島者数は、年間最多を5年ぶりに更新し480万人に達しており、オーバーツーリズムの懸念もあるなか、この施設の存在は、混雑する表参道商店街から町屋通りへの観光客の分散を図る上でも重要な役割を担っている。

以上の事由から、宮島の歴史や文化を尊重しつつ住民と観光客が交流する施設であり、企画・設計・施工に優れ、地域社会への多大な貢献や良好な施設管理を認め、地域特別賞に値する優れた施設として表彰する。